

別紙2-1『記載例』 麻薬小売業者
麻 薬 受 払 等 届

(自10月1日 至9月30日)

福島県知事 様

令和〇年10月15日

(免許の種類 麻 薬 小売業 者)
(免許証番号 第0*-71B****号)
所在地 福島市杉妻町2-16
名 称 ふくしま薬局
氏 名 株式会社福島薬局
代表取締役 山形 秋子

麻薬業務所

小売業者においては開設者が届け出ること。(第47条)
個人開設の場合、開設者氏名を記載すること。

第47条

令和〇年分の麻薬受払状況について、麻薬及び向精神薬取締法

第48条

の規定により次のとおりお届けします。

第49条

品 名	期始在庫数量	受 入 数 量	払 出 数 量	期末在庫数量	備 考
コカイン塩酸塩「タケダ」原末	2.00g	0	2.00	0	R7.3.9付廃棄届により2g廃棄 *1
コデインリン酸塩水和物	5.00g	50.00	30.00	25.00	10%散剤に予製 *2
コデインリン酸塩散10%	10.5g	300.0	290.0	20.5	原末より予製 *2
アヘンチンキ	7.0mL	25.0	24.2	8.0	秤量誤差(+0.2mL) *3
MSコンチン錠 30mg	50 T	200	180	70	R7.8.8付事故届(1錠紛失) *4
MSコンチン錠 60mg	50 T	0	0	50	*5
MSコンチン錠 10mg	50 T	200(40)	180	70	杉妻薬局より40T譲受 *6 *7
ナルサス錠 2mg	10 T	40	30(10)	20	杉妻薬局へ10T譲渡 *8
ナルサス錠 6mg	110 T	0	110(100)	0	回収に伴う譲渡 東北厚発〇第△号 麻薬製剤業 *9
以下余白	↑前期末在庫数量を記載すること。				

(毎年11月30日までに所轄の保健所に提出すること。)(1部は手もとに保存し、2部提出すること。)

- *1 廃棄届により廃棄した数量を備考欄に記載すること。調剤済麻薬廃棄届により廃棄した数量は記載する必要はありません。
- *2 予製した状況を記載すること。
- *3 秤量誤差訂正している場合は、その内容を記載すること。
- *4 事故のあった麻薬については、その数量を備考欄に記載してください。
- *5 1年間使用しなかった麻薬についても報告すること。また、届出期間中に麻薬を所有しなかった場合も「在庫・受払いなし」と記載すること。
- *6 受入数量欄には、麻薬卸業者及び他の小売業者より譲り受けた麻薬の数量(麻薬小売業者間譲渡許可を受けた小売業者間に限る。)の合計を記載し、他の小売業者等から譲り受けた麻薬の数量を()書きで同欄に記載すること。なお、備考欄に譲受の状況を記載すること。
- *7 麻薬卸売業者から160錠、杉妻薬局より40錠譲り受けた場合
- *8 患者へ20錠、杉妻薬局へ10錠譲り渡した場合
- *9 麻薬製剤の回収に伴う麻薬製造業者等への譲渡(逆譲渡)があった場合、払出数量欄には払い出した麻薬の数量と逆譲渡数量の合計を記載するとともに、逆譲渡数量を()書きで再掲してください。また、備考欄に「回収に伴う譲渡」、譲渡許可番号、及び譲渡先業種について記載してください。
(記載例は回収に伴い麻薬製剤業者へ100錠を逆譲渡した場合)